

発

表

の

型 村

മ

太

吉 型

岡

寿 隆

舘

長



ミュニティ祭り

位30周年記念式畫



アルスをコミュニティ

創立30周年記











長 舘 合 翔 晴



















資料



【護身武道は、護身術ではなく武道として「技」と「心」を学ぶものです。】 危ないところに行かない。 大声を出す。

護身の基本: (不審者等)に対して

·一人では、出かけない。 ・不審者に十分気を付ける。 ・逃げることをまず考える。

※すきを見て逃げることを考えるために。

・大きな声を出すように(声を出せるようにする。) ・何もできなくならないように・(居着く:フリーズしない。)

泣きじゃくってしまわないように

※大きな声で、助けを叫ぶ。 声を出すためには何が ・ 重気・ 自身が必要になる。



礼儀正しくするところに、反感は生まれない。

「気持ちで負けないこと」「最後まであきらめないこと」

※早く逃げるために

さまざまな状況を想定して、いざという時に、反射的に動くように練習をする。

再確認する:練習したものを、その場限りとせず、覚えたことを忘れないようにする。

武道として、何を・・(どうあるべきか、心も伝える) 護身の術を伝える・・(練習により、技を教える)

抜き技(脱力の重要性を説明)

脱力とは、例えば筋肉を怠けさせるのではなく、筋肉を休ませることですが、筋肉を休ませるとは、いつでも 筋肉を最大限働かせることが出来るように準備できている状態のことをいいます。



②力を反作用で使う

③梃子(てこ)のカ

※三ない ①力まない ②逆らわない ③挑まない

親指落×2・投げ 手合わせ 指攻落; 順指組落 逆縦手合わせ 小手投:逆縦手首 順縦迎え

押え抜き 順・逆手首 肩掛け詰め 順手首

後組み付き 後抱き付き 後襟 後ろ両手首

後ろ片手順 気合せ上げ・投げ;両手首

気合せ 1 両手首 縦迎 気合せ 7 双手 横迎 12 双手首 構训 気合せ 気合せ仕掛け15 両手首 横迎

4指を外側から掴み、主に相手の小指付け根を攻め外側におる。;順指組落;順指組

肘掛け落し・返し;を攻め、投げる。(手首を折らずに投げる)

捕まれた手の力を抜く(外撓谷;峰;を使う)と同時に反対の手で相手の小手に触れて抜く。

手刀で攻め、手首を返し、大拳頭の裏攻めたまま、攻撃線をはずし、相手の肩を詰め、肩に掛ける。

合掌腕返押え、 •気合せ抜け •手合腕返押え、

抱締落、投げ 後襟落、倒し 後ろ手倒、2種 手首絡み落し、

[※朝顔の花手形];軽く手の指を開き指を曲げる。指先を開き、力を出す意識。相手を持ち上げようとせず、 指先を立てる。肩の力を抜く(肩甲骨を下げる)お腹の近くで力を受け止める。丹田を意識して操作する。

気合せ落し:【気合せ投げ】 手首気合せ落し:【気合せ投げ】 気合せ上げ:【気合せ投げ】三里押え

仕掛け【気合せ投げ】(左右の肩を垂直に立て捌き投げる)







NPO法人全日本護身武道連盟 護身武道 小林会 2022.11.27